

ごうちゃんひろば

次の10年へ



知ろう 好きになろう 東十郷



多肉寄せ植えワークショップ

12月10日(日) 多肉寄せ植えワークショップが開かれました。今回はクリスマス・お正月も近いこともあり、それらに合わせた寄せ植えとなりました。定員を上回る応募があり和気あいあいの楽しいワークショップとなりました。



おひなさまかざり

2月7日(水) 丸岡駅の「ごうちゃんギャラリー」に、丸岡駅「ここにプロジェクト」のみなさんが「おひなさま」を飾りました。



第1回区長会議

2月15日(木) 南越前町・石川県珠洲市での被災地の状況の説明後、地域・家庭での備えの講座を実施。段ボール防災トイレを作りました。

健康福祉講座

11月26日(日) 健康福祉講座を金城大学 人間社会学部教授、内 慶瑞氏を招いて行われました。講演テーマは「福祉とは近きでありで行うもの～主役は住人～で、民生委員、福祉委員をはじめ約50人ほどが熱心に聴講しました。福祉とはご近所で無理なく行う行いもので、「ちょっと困っているの」とご近所どうしが素直に言える環境の大切さを学びました。

総勢32名による「ウクレレ教室・発表会」

11月15日(水) 東十郷コミセンの人気講座「ウクレレ教室」の発表会が32名の生徒さんにより行われました。コミセンホール会場には、多くの人が訪れお昼のひと時、やさしい音色に耳を傾けていらつしました。



ふれあいまつりの開催

三月十日穏やかな天候のもとコミセンにたくさんの方が集まり、展示、お茶席、坂井高校マルシェ、キッズクラフトコーナー、もちつきそして四年ぶりに行われたステージ発表と笑顔いっぱいの一になりました。



坂井高校吹奏楽部の演奏でステージ発表の幕開け



年ぶりに「ふれあいまつり」での発表に気合がはいります。





▲「ありがとう JR よこそハピライン」の寄せ書きに書き込む子どもたち



▲お客さんが列をなした坂井高校マルシェ



▲若松社中の皆さんによるお茶席 美味しいお茶菓子もどうぞ



▲おいしいね



▲さあ上手につけるかな



▲朝早くからてんやわんやの餅つき準備で大忙し



この大勢の人だかり何でしょうね。これは今年のふれあいまつりの目玉「餅つき」のにぎわいです。おろしもち、きなこもち、ぜんざいと5臼ついたもちがわずかな時間で品切れに。スタッフの人たちも大忙し。来年はもう2臼用意しなくちゃと話していました。

check!

ごうちゃんNEWS



ジャズピアノコンサート

12月10日(日) あわら市出身で3年前から坂井町にお住いのジャズピアニスト、高橋和英さんによる「クリスマスコンサート」がコミセンホールで開かれました。歌あり、楽しい話芸あり、そして映画の挿入歌では名場面の解説ありと、ピアノ演奏、歌にお話に1時間半のコンサート。また高橋さんは1500曲あまりを暗譜されており、会場のみなさんからのリクエストに応じて超満員の150人の人たちは大満足の時間を過ごしていました。印象に残ったお話では、「オーバーザレインボー」という曲のリクエストで、「東京ではなかなか虹を見ることはなかったけど、こちらに帰ってきてからは綺麗な虹をしばしば見るんですよね」とおっしゃったことでした。また「やってください」というお声をたくさんいただき、サマーコンサートをぜひやれたらなあと考えています。その時はぜひお越し下さい。

AR … このマークって？

- 1 下記のQRから無料のアプリ『COCOAR』をダウンロードします。
- 2 スキャンのボタンを押します。
- 3 **AR** マークが付いている写真を、カメラ内に収まるようにスマホをかざして見てください。次のページでも使用します。

iOS
AppStoreで
[COCOAR]と検索。
もしくは右記QRから。



AndroidOS
Google Playで
[COCOAR]と検索。
もしくは右記QRから。





映像と語りによる日本三大万歳 国指定 重要無形民俗文化財「越前万歳」

12月2日(土) 越前万歳保存会の池田博さんに越前市味真野から来ていただき、越前万歳の現状とその歴史のお話。そして東十郷地区ゆかりの演目「お早・良作」の実演映像を見せていただき、約80人の方が熱心に聞かれていました。

越前万歳にはなくてはならないスリ太鼓をもつてきてくださり、実際に打ち鳴らしその難しさを実感しました。



越前万歳のスリ太鼓

- 直径 約 23cm
- 厚さ 約 9 cm
- バチの長さ
約35 ~ 40cm



越前カンタケ講習会

毎年大人気の講座「越前カンタケ講習会」が、11月16日(木) 開かれました。

越前カンタケは福井県特産ブランド品の認定を受けたきのこ(ひらたけ)です。寒茸(カンタケ)の名のとおり、気温の低い寒い時期(11~2月)に発生します。淡泊で、かつ香りがよく、口当たりのよい味わいは絶品。菌床をいれてから、20日後によくカンタケが発生しました。3月まで順に発生して食卓をにぎわしてくれます。みなさん美味しく食べられましたか。



健康フェスタの開催

2月3日(土) 健康福祉部会のみなさんによる健康フェスタが開かれました。まずは健康チェック。筋肉量などを調べ健康年齢を出します。67歳の男性は、ちょっと自信があつたらしいのですが、75歳だと出てショックを受けていました。となりのブースで、どうしたらいいのか教えてください。そして、春江病院作業療法士 田嶋神智さんによる楽しいフレイル予防のお話。お口の体操、手足の体操。手足の運動は脳も活性化されますね。でもこれも続けることが大切です。



がる有名な民話

びんつけ や地蔵の話～

※びんつけとは、髪につける油のこと
今も、お相撲さんがまげに付けています



水をくれー



知っていますか？

- 私は、なぜ、まつや地蔵といわれるのかしら。
- どうしてここに建てられたのかしら。

どう思いますか？

- なぜ両親は大蛇についていくのを止めなかったのかしら。
- なぜ二回目は水をくれなかったのかしら。皆さまの考えを寄せてね。

※次回に掲載しますね

東十郷のみ・ん・わ その3 今回のお話 《まつやのびんつけ



10 まつや跡には、今は福井銀行丸岡支店が建っている。おわり



ある日、商人は娘を連れて金津へ向かった。途中、長屋橋を渡った。すると、橋のたもとに、まばゆいばかりの美しい青年がいる。絹は一目で恋に落ちた。



1 丸岡に、「まつや」という商人がいた。商人には、丸岡小町とよばれた「絹」という一人娘がいた。気立てもよく好かれていた。

まつやの ～長屋橋のま～

7

ある日、丸岡に火事が起きた。火がまつやに燃え移ろうというとき、一匹の大蛇が現れた。商人が急いで水を与えると、大蛇はパーと水を吹きかけ、まつやだけが燃えずにすんだ。



うちだけ
たすかった

6

大蛇が教えた金持ちになれる方法とは、「びんつけ」の作り方。毎日客が押し寄せ、まつやはあつという間に大金持ちになった。



まつやの
一番よ

まつやの
びんつけは
香りも艶も
いいね

水をくれー



5

両親は娘を弔おうと、橋の傍に地藏堂を建てた。丈競山頂など5箇所にも建てた。そして、毎日朝夕お参りした。



8

しばらくしてまた火事が起きた。今度は二匹の大蛇が現れた。しかし、どうしたことが、今度は商人は水を与えなかった。まつやは焼け落ち、焼け跡には、二匹の大蛇が黒焦げになって死んでいた。その後、まつやは潰れてしまったようだ。



お父さん
お母さん
お元気で

私は長屋橋に住む大蛇なのだ。私と一緒に橋に帰るのだ

嫁にくれるなら、すぐに大金持ちになれる方法を教えよう

4

婚礼の式後、青年は打ち明けた。もうどうすることもできなかった。絹は両親に見送られ、大蛇とともに長屋橋の淵に沈んだ。



3

実は、この青年は、長屋橋の淵に住む大蛇。水面に映る絹の美しい姿に一目で惹かれ、青年に化けて出たのだ。



これ知ってる？



「東十郷地区」

ごうちやんの

ディープ過ぎる

シリーズ No.3

ふるさと豆知識



京福電鉄丸岡線の

跨線橋跡

こせんきょうあと

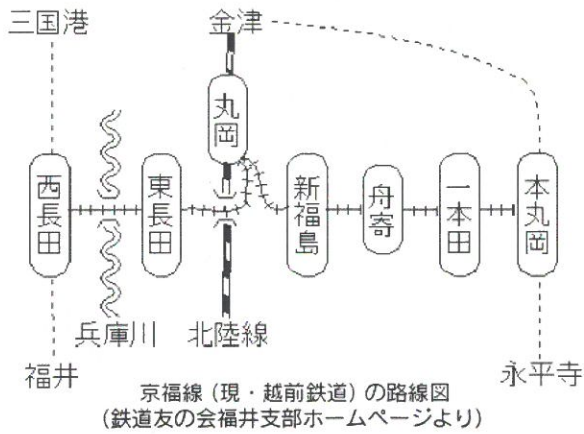
新福島区にある巨大なコンクリートの塊、これ何か知ってる？これはね、今から五十七年前（昭和四十三年一九六八年）に廃線となった京福丸岡線（本丸岡―西長田間）昭和六年一九三一年開業の北陸線を跨ぐ跨線橋の跡なんだよ。

この上に電車が三十七年間走っていたんだね。本丸岡駅を出た電車は、東十郷地区の新福島、丸岡、東長田の三つの駅を経由して西長田駅に向かうんだ。なんか想像すると楽しいよね。その当時の京福線と丸岡駅周辺ってどんなだったんだろうね？当時の様子を知る人に話を聞いてきたよ。

宮領 若松静栄さん

広々とした田園の中、小高い堤防線路を走る丸岡駅発の電車。西長田で三国からの電車に乗り換え通学した高校、大学の七年間でした。「本丸岡」と区別して「しんじよ丸岡」と呼ばれ、九月の「てんじや場祭り」の駅前通りは両側に所狭しと多くの屋台が立ち並び、あちこちからの人出で大賑わい。学校も早めに終わり、着物を着て丸二日間楽しみました。





朝日 友田深雪さん
 わたしは丸岡駅から電車に乗って本丸岡へ、そして丸岡高校に通っていました。当時電車は一両で「がったんこ電車」と呼んでいました。がったんこ、がったんこと走っていたからかもしれません。舟寄、一本田からは高椋小学校に通う小学生が乗ってきて、一両の電車の中にはいつも一杯でした。丸岡駅構内には売店があつてよく買い物しました。売店のおばさんは、「行ってらっしゃい」「お帰り」と声をかけてくれました。どうしてですかね、あのおばさん。当時の駅前通りに買い物に行けば何でも揃っていましたね。



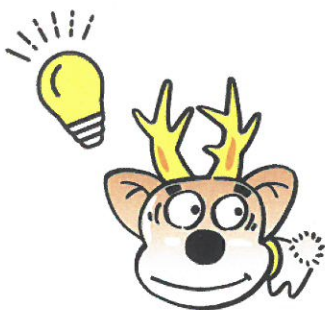
2024年現在の丸岡駅前通り



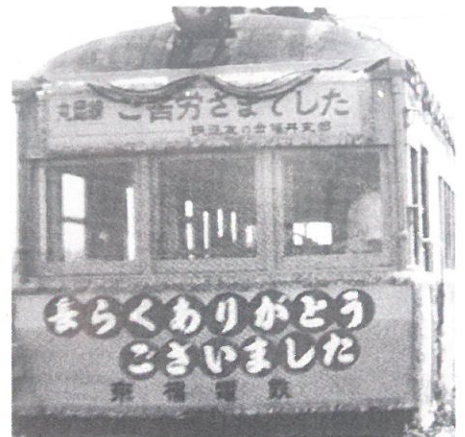
昭和40年(1960)頃の丸岡駅前通りの賑わい



昭和30年(1950)ごろの丸岡駅前通り
 (坂井市龍翔博物館蔵)



昭和43(1968)年7月10日に、惜しまれながら廃線したんだ。最終電車は22時40分、西長田発の電車だったそう。
 ちなみに、本丸岡駅は廃止後、丸岡バスターミナルとして丸岡地域の交通の中心となっているよ。



ありがとうJR西日本 ようこそハピラインふくい

三月十五日、この日でJR西日本の鉄道ともお別れ、十六日からは「ハピラインふくい」へと変わります。十五日、松涛こども園のこどもたちが丸岡駅に来て、行き交う電車に「ありがとう」の旗を振りました。このレールに特急電車が走るのも今日が最後。電車に乗っていた人も気づいてくれてさかんに手を振ってくれました。



こどもたちFBCの取材を受ける

(NHKの取材も堂々)



3月15日夜、この駅名案内も今日でお別れ翌16日、今日から「ハピラインふくい」の丸岡駅へ

まち協サポーター 大募集!!

まちづくり協議会では、部会ごとにいろいろなイベントを行っていますが、いつもスタッフが足りなくて困っています。「部会に入るのはちょっと・・・」という方は多いと思いますが、それなら是非サポーターとして活動していただけませんか？手伝える日だけでOK。手伝える時間だけでOK。いろいろな人と知り合うこともできます。

「それならちょっとやってみてもいいかな」と思われる方は、下記にご連絡ください。お待ちしております。

TEL:66-4567 FAX:50-3083
E-mail: jugo-p@mx3.fctv.ne.jp
直接窓口へ

分からないこと等も
気軽にお問い合わせ
ください



現サポーターさん

私は、鉄道フェアと魚のつかみどりのお手伝いに行ったわ。子ども達とふれ合えたわ。

私は、カンタケ栽培の手伝いに行ったよ。手伝いながら自分も勉強できたよ。



現サポーターさん

RAKI

人と人のつながりが大好き、
大切な地域を盛り上げた！



東十郷地区の
じんぶつ

No.2 江川真美さん

◀自家農園にて。左のトラクターでご自身で耕すそうです。



コミュニティ
カフェ [RAKI]
Instagram



コミュニティ
カフェ [RAKI]
Map

©RAKI'97

いいね！人物シリーズ、二番目に登場していただくのは河和田地区在住 江川真美さんです。まず江川さんの第一印象がとても明るいうということ。もう元氣いっぱい笑顔が素敵で、お話を聞いているこちらが知らずに元気になってきます。大切な、大好きな河和田、東十郷、坂井市、福井県を盛り上げたいという気持ちが熱く伝わってきます。

「変わっているね」と言われることが大好き

江川さんの地域活動に対する熱き思いは、福井県が二〇二二年から始めた「エキセントリック・カレッジふくい」(二期生)を受講したこと、また同時期に坂井市の「まちづくりカレッジ」の七期生として入学して「まちづくり」について学んできたことに始まります。そのカレッジと一緒に学んだ同期生、卒業生との横・縦のつながりを、そして地域とのつながりをとても大事にしています。

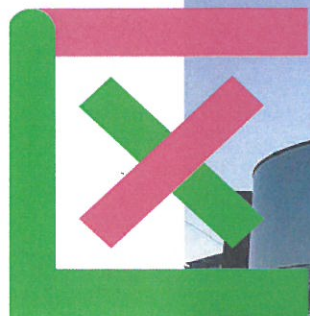
表現することが大好き

二〇一九年「A COMMON BEAT」という一般公募のミュージカルに出演しました。ここで知り合えた人達のつながりで「まちづくりカレッジ」に参加するようになったそうです。まだまだ江川さんの挑戦は続きます。三月三十一日 第一回ふくい桜マラソン、四月二十九日 一九五キロフルマラソンに挑戦するそうです。驚きのパワフルさ！応援しています。

コミュニティカフェ「RAKI」のオープン

河和田地区に五月にオープンする「コミュニティカフェ」。人とのつながりを大切に思う思いから、カフェの前にコミュニティを入れたそう。ランチで使われる野菜は自家農園・地域で取れた野菜を使うそうです。とても楽しみです。





東十郷の地区

五本

GO
HO
N

東十郷「いいね風景」「いいね人物」を下記まで教えて下さい。



①



②



③

①五本区公民館 ②八幡神社 ③子供神輿

🔍 地区の紹介

我が五本区は田園風景がとても良く静かで過ごしやすい集落です。世帯数は51件で集落としては小さいですが、何をしてもまとまりやすい集落です。近くにはJR(4月からはハピライン)が走り写真家が多数写真を撮りに来ます。聞くと、五本の線路沿いは直線距離が長く障害物もなく写真撮影にもってこいとのことだそうです。

集落には八幡神社があり、建物としてはとても歴史があるそうで、去年秋から今のままの神社を残そうと建て替えるのではなく、修繕とし地盤の補強、屋根瓦の補修、建物の修繕を行ってきました。区民の皆様の協力により昔のままの神社風景が残されて大変感謝しています。

📅 行事/イベント

1月1日の八幡神社初詣から五本区の一年が始まりました。区民の皆さんの沢山のお賽銭、お神酒感謝しています。5年前から開催している子供神輿は八幡神社を出発し、集落を1周する子供たちの一大イベントです。去年は雨天中止で、今年は暑さ対策で秋祭り近辺で開催を計画しています。

4月に春祭り、10月に秋祭り、11月には新嘗祭と八幡神社のお祭りがあります。11月には地区でお亡くなりになった方々の物故者追悼法要、報恩講を行っています。

令和6年区長 西野和見